

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



就任のご挨拶

久保 達彦 大学院医系科学研究科 医学分野 公衆衛生学 教授

- ①東京都
- ②災害医療・国際緊急援助
- ③音楽
- ④情熱は伝わる

2019年10月1日に大学院医系科学研究科 公衆衛生学の教授に着任いたしました久保 達彦です。

私は東京都立戸山高校を卒業後、産業医科大学 医学部に入学し、同大学院を経て医師としての修練を積んで参りました。卒後は疫学の技法を活用しながら臨床及び保健実務にやりがいを感じながら従事しておりましたが、東日本大震災に伴う福島第一原発事故の復旧作業者健康管理支援事業に現場対応したことを契機に、全精力を災害医療・災害公衆衛生の仕組みづくりに捧げる日々を送るようになりました。

現在は災害派遣医療チームDMAT、また国際緊急援助隊医療チームの一員として国内外の自然災害対応に従事しつつ、災害医療チームが利用する診療日報の国内およびWHO国際標準の策定にかかわっております。

新たな環境でまだまだ不慣れなことが多いのですが、広島大学のさらなる発展に貢献出来るよう精一杯頑張ります。皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



就任のご挨拶

伊藤 公訓 大学病院 総合内科・総合診療科 教授
*協力講座名「総合診療医学」

- ①広島県
- ②上部消化管疾患の臨床研究 胃癌一次予防
- ③プロ野球観戦、B級グルメの食べ歩き
- ④義理人情 世の為、人の為

令和元年10月1日付けにて広島大学病院 総合内科・総合診療科教授を拝命いたしました伊藤 公訓です。この場をお借りしてご挨拶を申し上げます。

私は昭和63年に広島大学を卒業し、第一病理（現 分子病理学）大学院に入学いたしました。平成4年に第一内科（現 消化器・代謝内科）へ移籍後は、国立呉病院（現 呉医療センター）、済生会呉病院、広島鉄道病院（現JR広島病院）で一般内科診療を経験し、平成12年からは広島大学（保健管理センター、光学医療診療部、消化器・代謝内科）で19年間勤務してきました。

医療の急速な専門化・細分化に伴い、プライマリ・ケアを行う医師（総合医）への社会的ニーズが高まっています。当科が担うプライマリ・ケアは、検診・予防医学から救急診療まで、患者さんへの一次対応を幅広く行う医療です。そのための専門的なトレーニングを受けた総合医（家庭医）を多く育てることが、当科の果たす大きな社会的役割と考えています。

さらに研究活動では、田妻 進 前教授、菅野 啓司准教授が発展させてきた胆汁酸研究に加え、私が実践してきた上部消化管の研究を融合させた新しい臨床研究を目指したいと思います。またピロリ除菌による胃癌一次予防の実践も、我々が果たすべき大きな責務です。

当科スタッフと力を合わせ、より良い臨床・研究を展開したいと思います。皆様、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。